

仁和寺観音堂

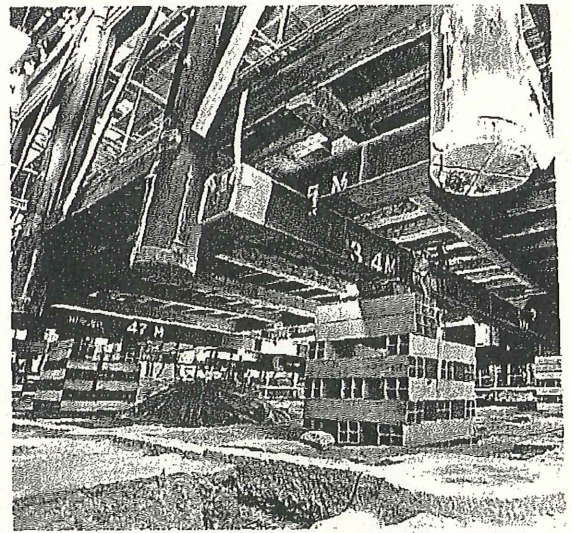
1年から44年にかけて建築され、今回のような大規模な修理は初めてとなる。

修理現場公開

観音堂の礎石を据え直すため、瓦を取り去った約35本の建物全体を約1分ジャッキアップした。30本の柱を支える礎石は長年の重圧で沈下しており、据え直した後、遺構を調査したうえで建物を下ろす。全体の修理は2017年度に完成する。

現地は31日に一般公開される。午前9時半、11時、午後1時半、3時の計4回で、定員は各回20人程度。はがきによる事前申し込み制。府教委☎075(414)5809。

(仲屋聡)



宙に浮いた状態になった観音堂。柱の下に(京都市右京区・仁和寺)＝撮影・中

あす結婚式

典子さま、千家さん

高田宮家の次女典子さま

(26) 写真右

と出雲大社

(島根県出雲市)の権宮司

千家国麿さん

(41) 写真左

の結婚式が5日、千家家が

代々神事を担う出雲大社の伝統に従い執り行われる。

4日朝には出雲に旅立たれた典子さま。3日夜、住み慣れた宮邸での最後の時間を、家族とともに過ごした。

宮内庁によると、典子さまは5日朝、千家さんの使

者とともに宿泊先の旅館を出発、出雲大社に向かう。午前11時ごろ千家さんと参道を進み、式を挙げる拜殿に入る。典子さまは小桂(こうちぎ)と長袴、千家さんは衣冠姿。式には母久子女ら両家の親族約20人が参列する。

レーザー新治療
来夏にも保険適用
京大など承認申請

京大など承認申請
レーザーによる新たな治療法の有効性を治験で確認し、薬事法に基づく承認申

講をした、と発表した。来夏にも保険適用が認められる見通しという。

低出力の半導体レーザーと光に反応して活性酸素を発生させる薬剤を組み合わせた治療法。担当した武藤学・京大医学研究科教授によると、抗がん剤や放射線療法を経た後に再発した食道がんについて、京大医学部付属病院など全国7施設

の患者26人で治験を実施し、88・5%の高い割合でがんが消失する結果を得たという。

既に脳腫瘍や早期の肺がんで保険適用されている。武藤教授は「再発した食道がんに対する根本的な治療

勤務医が670万円不正受給
京都刑務所、外部研修を虚偽報告

として期待できる」と話している。(松尾浩道)

勤務医が670万円不正受給

京都刑務所、外部研修を虚偽報告

京都刑務所(京都市山科区)の勤務医が、実際には行われなかった外部研修の時間を虚偽報告し、約670万円の給与を不正受給していたことが3日、分かった。会計検査院が不正を指摘し、医師は全額を返還したという。

同刑務所によると、医師は2009年1月〜今年4月、外部の病院での研修で、事前に届け出た計画時間の

ぼぼ半分にあたる約2千時間の研修をしなかったにもかかわらず、報告書には計画通り行ったと虚偽記載し、一部で研修先の病院のものと思われる印鑑を押していた、という。同刑務所は医師の処分について調査中で「研修実態をもっと確認しておくべきだった」としている。

また、京都医療少年院(宇治市)で、元勤務医が研修

脅しに屈しないよう励ます市民団体が発足することが3日、分かった。6日に札幌市内と東京都内で記者会見を開き、正式発表する。

発足するのは一負けるな北星学園1の会。呼び掛け人には、作家の池澤夏樹さん、聖学院大学の善尚中学長、法政大の山口二郎教授などが名を連ねる。メールや書面で募った賛同者は既に200人を超えたという。

黒い雨集団訴訟へ

原爆投下後に広島で降った「黒い雨」について、援護対象の地域拡大を求めている広島県「黒い雨」原爆被害者の会連絡協議会は30日、臨時代表者会議を開き、「行政交渉だ

政務活動費を二重計上

大阪府東大阪市議会の天野高夫議長(68)が2011〜13年に事務所の家賃などの名目で市に請求した政務活動費計約240万円を、後援会の政治資金としても計上していたことが3日、分かった。天野氏は「記載ミス」と話している。

天野氏によると、二重計上していたのは事務所の賃料や光熱費。政務活動費の収支報告書に添付した振込伝票をコピーし、政治資金の収支報告書にも使っていた。天野氏は「政治資金の会計は妻に任せており、チェックしていなかった」と釈明した。政務活動費と政治資金で事

先の病院と国から二重に給与約260万円を受け取り、全額返納していたことも分かった。

同少年院の説明では、09年1月〜10年12月、30代の整形外科医が府内の複数の病院で研修した際、約900時間の給与が病院と国から支払われた。元勤務医は研修先で診療しており「公務員の兼業禁止規則を忘れていた」と話した、という。

同少年院は「医師への説明が足りなかったと反省している」とした。